



2012年 7月 18日発行（通算第65号）

発行 高橋 光夫方 呑川の会

連絡先 〒145-0061 大田区石川町1-26-8
呑川の会 HP

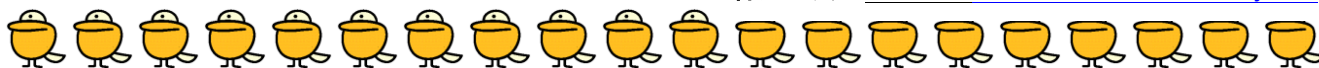
<http://home.m00.itscom.net/nomigawa/>

<http://home.t07.itscom.net/nomigawa/>【第2】

高橋会員 HP <http://homepage2.nifty.com/aoiyume/>

呑川の会 e-mail mitsuo.takahashi@nifty.com

の み が わ



6月21日 第10回 呑川をきれいにする意見交換会報告

（菱沼 公平 記）

第10回目の大田区との呑川をきれいにする意見交換会が、6月21日（木）10時～12時、大田区役所9階第2会議室で行われた。平成19年に第1回目が開かれ、以降年2回開催され今回で10回を数えるにいたった。出席者は次のとおりです。

大田区側 都市基盤整備部 都市基盤管理課 根本課長 他2名、
都市基盤整備部 大森、調布、蒲田、糀谷・羽田まちなみ維持課 道路・河川管理担当5名

環境清掃部 環境保全課 岩田課長 他2名

（株）建設技術研究所 東京本社 水システム部 3名

大田区議会議員 10名（内2名は呑川ネットの会員）

呑川ネット 館野代表 他12名（区議を除く）

会議は都市基盤管理課 計画調整担当 藤澤係長の司会で始まった。

最初に岩田環境保全課長が大田区を代表して次のように挨拶した。「呑川には子供の頃からの記憶もあり、関心を持っていた。地域における水空間は大切なものと思っている。」と述べ、その後「大田区環境基本計画」～『環境と生活・産業の好循環を礎とした持続可能で快適な都市（まち）』を目指して～の説明をし、その中で『水辺環境のネットワークづくり』の一環として呑川の問題にも取り組んでいく。」と話した、

次に呑川ネット館野代表が挨拶した。「今年度より代表を引き継いだ館野です。呑川流域に住む仲間の『川が臭くてたまらない』との声を聞き、すでに活動している『呑川の会』に相談して呑川流域ネットワーク連絡協議会を立ち上げ、行政への要請、呑川シンポジウムなどの呑川浄化の取組を行ってきた。川の問題は行政としても取り組んでいるがなかなか進まないのが現状だが、今後も東京都とも協力して呑川をきれいにする努力をしていただきたい。」と述べた。

次に参加者の自己紹介を行った。

次に呑川ネットの昨年度の活動について口頭で報告した。

当会からの質問等に対する回答

1. 大森南一丁目公園の欄干の改善について
当初扉は必要ないと考えていたが、呑川ネットからの要請もあり、関係機関と意見交換しながら検討していく。
2. 呑川のサイン計画について
東日本大震災発生以降、サイン計画は延期した。今後は、観光や防災に関連したサインの整備計画も踏まえながら、関係部署と連携して検討を進める。
3. 未来プラン等の 23 年度実績と 24 年度実施予定
呑川緑道の整備と、水質浄化対策として、水質浄化実験、透水性舗装、道路浸透ます設置、河床整正を行ってきたが、引き続き実施していく。
4. 呑川に関する問題点などについて
 - (1) ユスリカ対策
区では、平成 21 年度より河床の清掃を行ってきた。河川清掃車を導入してから年間 4 回の清掃を 43 回に増やした。卵だけの駆除では限りがあるので、捕虫機を導入してテストを行うことを検討している。
 - (2) 水質改善対策
現在実験中の水質浄化施設だけでなく、流域対策、下水道対策、雨水対策などのを進めていく。水源確保などを含めて東京都と連携して取り組み、合流改善、部分分流など東京都に要望していく。
環境保全課では、呑川の定期的な水質・底質。腐食性ガスの測定や生物調査、呑川パトロールにより、現状の把握に努めている。
5. しゅんせつ・犬走り等の清掃について
 - (1) 河床整正
河床の凹凸があり、汚濁物質が溜まり易い太平橋から JR 橋の区間の堀削を行った。
今年度は工事用船舶の航行が難しいので工事を中止する。今後の河床整正については、都の防潮堤耐震補強工事と調整を行いながら検討する。
 - (2) 犬走りの清掃
堆積したヘドロの清掃方法やコストなどの検討を行い、実施について関係機関と調整をしていくので、もう少し時間がほしい。



6. 水質浄化について

放水口から上流側に 150m、下流側に 50mの範囲で溶存酸素濃度が改善された。今年度は4月から実験機を稼動し、水質の悪化する春から夏における水質改善効果を調査すると報告された。しかし水質データは実験開始前の4月6日と実験後の5月30日の比較で、これではこの間の越流水が発生した場合の影響が全く考慮されていないと、呑川ネットで指摘した。

そこでこの問題は改めて時間を取って話し合うこととした。

最後に根本都市基盤管理課長の閉会の挨拶で、意見交換会は終了した。

呑川に合流する「流れ」考 5 ～駒沢支流と周辺の流れ～

(寄立美江子
白石琇朗 記)

駒沢地区も湧水が豊富で呑川に合流する流れが多くあり、駒沢支流は戦前には駒沢練兵場やゴルフ場で、自然が残されていた駒沢オリンピック公園付近が源流ですが、造成時に公園内



の川は消滅し、目黒区と世田谷区の境が流れの痕跡と思われる。そこから都立大学駅の呑川上流付近まで緑道となっています。



また駒沢の近くの深沢地区も流れの跡が3本あり、昔の呑川への湧水が偲べれます。その中で特に深沢小付近からの流れを辿り、流れが現存する自然豊富な場所を発見し、是非中を見学したいと強く思い立派な屋敷門に佇んでいると、門を開けて作業途中のご主人の秋山さんが偶然出て来、呑川の会の名刺を渡してお話すると、中の自由な見学撮影が許され、更に応接室で多



数の資料の拝見とお話しを頂き、高橋・寄立さんと3人感激しました。

後で駒沢地区の万分の1地図を見ると、道を挟んだ2ブロック(庭と畑)が緑色で池の表示もある大農家の屋敷とわかりました。後日その先を歩くと、お巡りさんが警備している小沢邸の

真横を通り、呑川の復元水路に辿り着きました。

「街たんけん」で呑川ウォーク

——雪谷小学校——

(福井 甫 記)

雪谷小学校の3年生が「街たんけん」の授業で呑川を探検したいから、その案内をという要請がありました。

実際 雪谷小学校のすぐ脇を呑川は流れていて東雪谷に住む子どもたちは毎日必ず呑川を渡って通学するのですから、私たちとしても是非もっと呑川が好きになり、関心をもってもらいたいと思ってこの呑川たんけん授業に参加しました。

(3年生は3クラスあり、各クラス毎なので6月15日が1クラス、22日が2クラス実施)

事前に子どもたちの呑川に対する疑問を調べ送っていただきましたが、それは次の通りです。

1. 長さ
2. 住んでいる生き物(鳥、魚、虫、コウモリ、カメ)
3. 深さ
4. 川のそうじ(時間、回数)
5. 大田区以外の区を流れているのか。
6. 「呑川の会」について
7. 橋の数
8. 川の上にある公園
9. 呑川の近くにある学校名
10. 昔の様子
11. 洪水はあったのか。
12. 大雨の時はどうなるか。(現在)
13. 川の壁に開いている穴は、どんな働きをしているのか、また、どこにつながっているのか。
14. 会の人たちは、これから呑川をどうしたいのか。
15. はしごがある場所がある。あの梯子は、何に使うのか。

意外によく観察している(と云っては失礼かも)し、呑川の問題をほとんど全て含まれていると云ってよいでしょう。3年生で呑川を理解するのは難しいとも思っていたのですが、みんな熱心に話を聞き、最後の質問の時間では終業時間が過ぎても活発な質問が続きました。

ただ残念だったのは私たちの応援が延べ9人がやっ



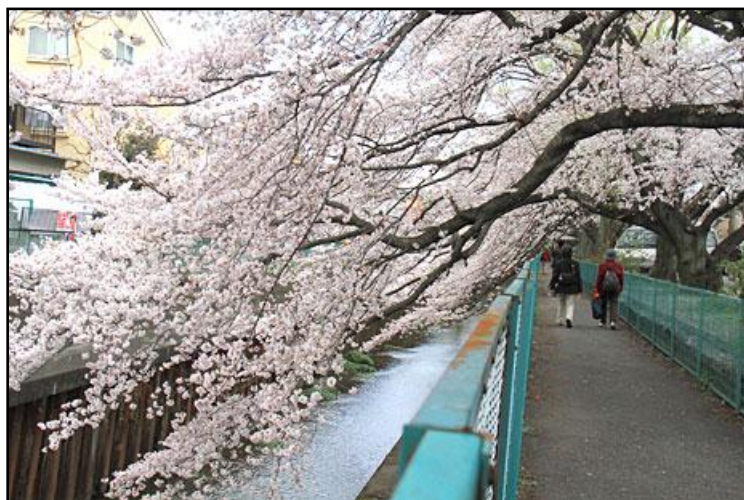
とで、ウォーキング時、案内者一人につき子どもが13人だったこと。もっと多くなれば子どもたちにもっと密着してきめ細かく説明でき、子どもたちも理解しやすかったでしょう。そのような体制を私たちもつくっていききたいものです。

恒例・春の都市河川ウォーキング（2012/4/7）

石神井川・お花見ウォーク

（高橋 光夫 記）

— 河川改修で桜の大木が切られ、今後が心配 —



例年に無い寒さで開花が遅れた桜も、ようやく六分咲きは過ぎ、暖かい陽気に恵まれ、西武新宿線「東伏見駅」から白石さんの案内でスタートしました。

昔は石神井川の水源地の一つだったと思われる「富士見池」では、早速「カワセミ」が我々を歓迎してくれました。

川の蛇行がそのまま池になったようなこの場所で、「カイツブリ」「ゴイサギ」「コサギ」なども姿を現し、心をなごませてくれます。

ここを出てすぐ、西武新宿線沿いの石神井川は、桜も、菜の花も今が盛りで、歩くほどに気持ちが楽しくなります。

川沿いのほとんどの道が歩道で、車の心配が全く無く、安心して川そのものを楽しむことが出来る環境は、うらやましい限りでした。

桜は古木群が多く、途中で見られた、道をまたいで川面にしなだれる桜は圧巻ですが、この桜も今年限りと言います。

散策の途中で改修工事予定を知らせる看板がありました。それによると「石神井川」はまだ「時間雨量 50mm 対策」が完了していない箇所があり、拡幅工事をするとはいいます。

川を拡幅すれば、川沿いの桜はいかに大木であっても伐採せざるを得ません。

工事がほぼ完了している場所に出逢うと、川幅はグンと広くなり、川底までは深さを増し、さらには殺風景なコンクリート護岸になって、その変貌ぶりはため息が出るばかりでした。

川沿いはもう少しは整備されると思いますが、「50mm 対策」がもたらす川と人との分断を悲しく思います。

しかし、途中で立ち寄った「石神井公園」の「三宝寺池」は「沼沢植物群」という貴重な植物の宝庫で、アオサギのペアに私は初めて出逢い、ハシビロガモやエナガなどステキなバードサンクチュアリーでした。それぞれの水源池は、自然豊かでとても美しいのですが、「石神井川」へ流れ込むような湧水はどこも止まっています、今後この美しさが保たれていくのか心配でした。

呑川沿岸（工大橋～河口）の樹木

（可児 昭雄 記）

—— 第 15 回 紫陽花（アジサイ） ——

うっとおしい梅雨のシーズンに、花の色を青・白・淡紅色・紫褐色と変化しながら咲いているのが、「七変化」とも呼ばれている「紫陽花（アジサイ）」である。そして、小花が重なり合って咲くことで「手まり花」、また野山を歩いていると真中に小花がかたまり、その周りを開いた花が囲んで咲いている「ガクアジサイ」がある。4月8日の「花祭り」に使われる「甘茶」もこの一種である。

色の変化は、リトマス試験紙が赤になると酸性と言われているが、この花は土がアルカリ性になると紅くなる性質があるため、根元に石灰ミョウバン等を混ぜると紅くなる。このように、いろいろ変化しながら楽しませてくれる花である。



紫陽花（アジサイ）

- ・ユキノシタ科
- ・落葉灌木
- ・花言葉：冷淡、
あなたは冷たい
移り気など

★参考文献：
「愛の花ことば」
成美堂出版

◆写真：白石琇朗
堤方橋上流右岸。

呑川の会総会報告(2012年6月16日)

（工藤 英明 記）

～ 平成24年度活動計画 ～

平成24年度呑川の会活動計画

☆H24年度(2012)呑川の会世話人(決定)

①高橋光夫、②白石琇朗、③大坪庄吾、④福井 甫、⑤菱沼公平、

⑥古海信雄、⑦小林賢司、⑧武富正治、⑨南弘元、⑩工藤英明

●役職・担当

代表：高橋光夫、副代表：白石琇朗、顧問：大坪庄吾、会計：福井 甫、会計監査：古海信雄、事務局：工藤英明、菱沼公平（呑川ネット事務局兼務）、呑川の会HP：小林賢司、会員名簿の整理、会報のみがわの宛名印刷：福井甫、河川ウォーク：白石琇朗
小学校呑川ウォーク：世話人全員の他、折戸さん、寄立さん、榊原さん、可児さん等の協力が必要。
呑川ネットの田中さんにも協力要請する。
会報「のみがわ」発行時期・編集担当は、別途。

■恒例行事の開催

- 1) 小学校総合学習支援としての呑川ウォーク（おなづか小、久原小、雪小等）
- 2) 春秋2回の都市河川ウォーク、詳細は、別途案内する。

春季：4月6日（土）候補地：黒目川、（新河岸川）

秋季：11月10日（土）候補地：石神井川中流域（西武線高野台～下流）

- 3) 魚調査2013年6月中旬

- 4) 大田区エコフェスタへの参加2013年2月（予）

- 5) 会報「のみがわ」発行・郵送・配布

会報は、年4回以上発行。編集担当は、世話人の持回り。

H24/7月：菱沼、H24/10工藤、H25/1白石、H25/4福井、

- 6) 定例会の開催

偶数月は、定例会（原則土曜日午後、場所は、Mics大田、又は コラボ大森）

H24/8月 1 8 日、10月 1 3 日、12月 8 日、以降は別途検討。

H25/2月 日、4月 日、6月 日（総会）

1 2月納会と6月総会の会場は、蒲田小

◆現在進行中の行事(企画)

- 1) 久原小4年生3クラス約100名の呑川ウォーク窓口：大坪、2012/6/27実施予定。

詳細は、大坪メール、ファックス、電話。堀江氏にも連絡。

- 2) 雪小「ワクワク教室」窓口：福井、2012/8/29実施予定。

詳細は、随時、メール等で連絡する。

- 3) 呑川講座 窓口：菱沼 早急にチラシ作製する必要有り。

標題（キャッチフレーズ）を「あなたの知らない呑川」に決定。

■呑川散策観光マップ・呑川のあらましの作成。PTのリーダー：白石

今後、奇数月の第二木曜日午前中9：30～打合せ会議。本年12月上旬迄に完成。

その後、大田観光協会に印刷発行を依頼。

H24/7月12日（木）、9月13日（木）、11月8日（木）

●呑川の会HPの統合・新サーバーとの契約・アップ

担当：小林賢司 詳細は、随時、メールで連絡。

以上

【本年度会費(2000円)の未納の方には払込取扱票を同封しましたので、納入をお願い致します。】